

新宿御苑 庭園・樹林管理計画 第1期計画の概要

(ピスタラインとサクラの景観・品種の保全管理)

1 なぜ今、計画が必要なのでしょう？

新宿御苑は、新宿駅の近くという都市の中の広大な緑の空間であり、年間約200万人以上の来苑者をむかえている国民公園です。

では、新宿御苑の風景の魅力とは何でしょうか？ 広々とした奥行きのある芝生、春を彩るサクラ、ユリノキ等の大木、様々な様式の庭園などが思い浮かぶかもしれません。これらはみな、新宿御苑の歴史的な遺産を受け継いできたものなのです。

ところが新宿御苑は現在、樹木の生長や老木化に加え、利用の形態や周辺環境の変化などによって、魅力的な景観が大きく変質してきており、このままでは受け継いできた魅力ある景観が失われてしまうおそれがあります。

新宿御苑では、これまでも「歴史・文化遺産、植物遺産の評価及び継承」を管理の方針の一つとしてきましたが、これを目に見える形で実現していくためには、現場で具体的な対策をする指針となるものが必要です。この指針となるものとして、「新宿御苑 庭園・樹林管理計画」を作成しました。



国民公園新宿御苑



新宿御苑の魅力 広々とした芝生



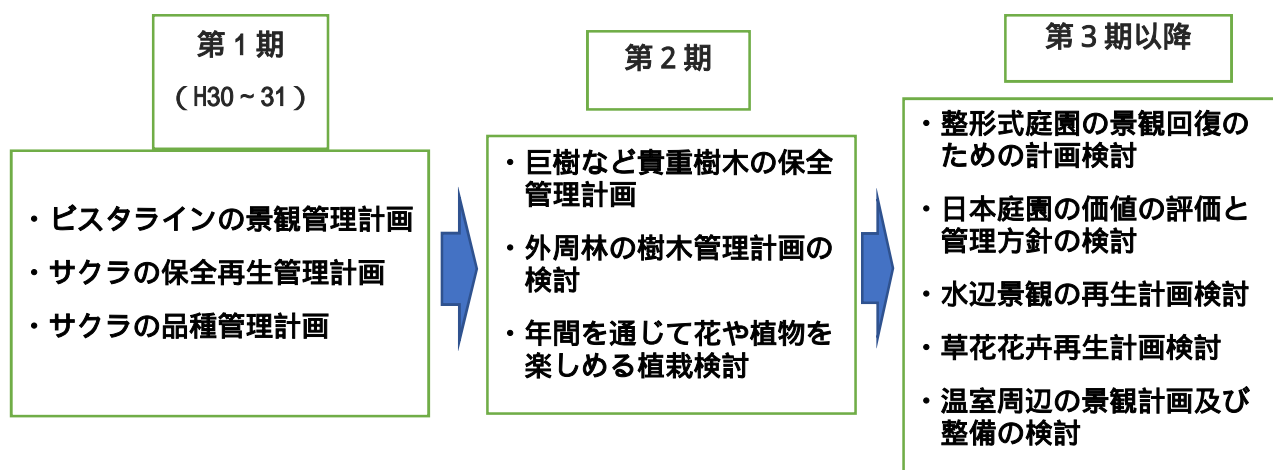
新宿御苑の魅力 サクラの景観

計画の作成にあたっては、庭園や植物の専門家、関係者の意見を聴くため「新宿御苑庭園・樹林管理方針等検討会」を設置し（座長：鈴木誠東京農業大学教授）、昨年月から3回の検討会を実施し、計画を作成しました。（委員名簿、別添1 参照）

2 計画の特徴と第1期のテーマ

この計画は、庭園・樹林の管理に関する課題をいくつかのテーマに分け、そのテーマ毎に計画を作成していくこととなります。今回作成した計画は、計画の第1期にあたるものです。

第1期のテーマと、今後予定しているテーマは次の通りです。



本計画の検討テーマと予定

【この計画の特徴】

この計画は、庭園樹林を管理する上で、魅力ある景観を継承していくための技術的な方針を示すものです。

実際に、現場で維持管理や庭園整備を行うにあたっては、計画で示された方針を現場レベルで具体化する実施のための計画を作成することが必要です。

また、計画の内容には当面実施する内容も含まれますが、計画全体としては長期的視点で段階的に達成していくものです。

今回の計画は第1期のものですが、今後、第2期、第3期と計画が作成される中で、これらと整合のとれた管理を実施していく必要があります。計画の実施に当たっては今後も学識者の意見を聴き、質の高い管理に生かしていく方針です。



巨木等貴重樹木管理方針(第2期以降)



水辺の景観再生(第3期以降~)

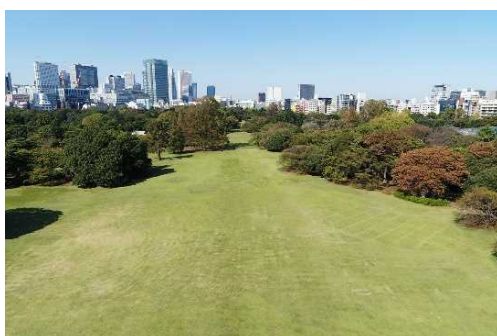
3 計画のポイント1：広々とした奥行きのある景観を守る（ビスタラインの景観管理計画）

新宿御苑が多くの人たちを引き寄せる最大の魅力は、「広々とした奥行きのある芝生、その両側を彩る桜」の景観とすることができます。

この庭園景観を創り出しているのは、ビスタライン(見通し線)という近代フランス式庭園のデザイン手法であり、これが現在も継承されています。

しかし、この貴重なビスタラインの風景は、樹木の生長と老木化等によって変質しつつあり、このままだと来園者を魅了する景観が失われるおそれがあります。

このため、このビスタラインの景観を保全するための計画を作成しました。



利用者を魅了する広がりとお行きのあるメインビスタの景観



樹木の生長、高密度化などにより狭隘化が進み、ビスタラインのお行きや広がりが失われつつある

【計画の概要】

- ・ビスタラインの設計当時に意図された「広がりを持った見通しの良い眺望景観」と「多様な視点場からの額縁効果を持った眺望景観」を回復します。回復に当たっては、新宿門方向からの見通しも意識します。
- ・景観の回復のために、ビスタラインを遮る樹木について樹勢の状況もみながら、段階的に除間伐、剪定をおこなっていきます。この実施に際しては、景観や利用に関する他の観点も含め対応を決めていきます。
- ・ビスタライン中間付近の三角花壇周辺は、特に見通しが遮られており景観保全や利用上の支障が生じているため、当面重点的な対応を図ります。(別添2 参照)
- ・新宿門からビスタライン側への入り込みの集中を緩和するため、新宿門から東側に延びる北側園路への入り込みを誘導するため植栽等の改善を図ります。(別添2 参照)



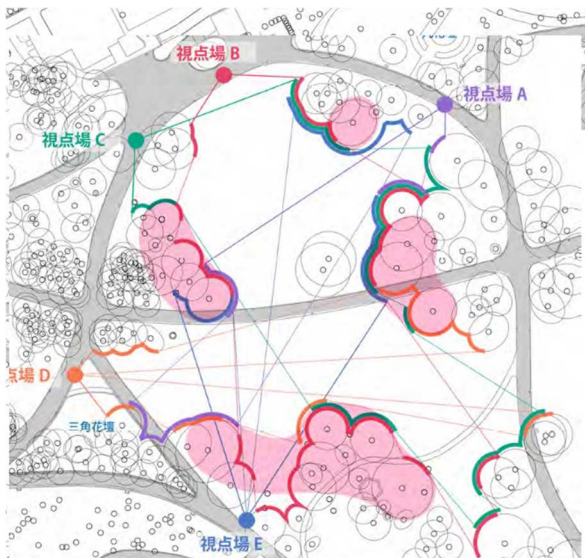
三角花壇付近のビスタライン

4 計画のポイント2：サクラの彩る景観を守る（サクラの保全再生管理計画）

新宿御苑のサクラは、観桜会の会場など御苑の歴史との関わりが大きく、また今も総理大臣主催の桜を見る会が開催され、ソメイヨシノの時期には多くの人々が花見に訪れるなど庭園景観を魅力的にしている重要な樹木です。

しかし、サクラの老木化による樹勢の衰退や樹形悪化が進み、新宿御苑の魅力であるサクラの景観を損なう問題が生じています。

第1期では、新宿御苑の景観を象徴するピスタライン周辺のサクラを対象とし、管理計画を作成することとしました。



サクラの景観特性の分析例

(周囲からの見え方についての分析：
御休所前広場の分析)



樹形の悪いサクラ



樹形の良いサクラ

【計画の概要】

- ・計画は、ピスタラインの確保という視点、サクラの歴史文化的価値、庭園景観上の価値について評価をしつつ、現代の利用ニーズへの対応という視点も加え、サクラの価値の最大化を実現すること基本とします。
- ・サクラの更新にあたっては、観桜期における利用の平準化や鑑賞期間の延長に配慮して、早咲きと遅咲きのサクラの植栽場所の再編などにより、ピスタライン各所で楽しめるようサクラ植栽を行います。
- ・ピスタラインの前面を彩るサクラは、ピスタラインの景観を決定づける重要な樹木として評価し、樹形、樹勢の状況に応じ周辺樹木との関係に配慮した適切な維持管理を行うこととします。
- ・特に重点的に取り組む場所として、御休所前の芝生広場付近について衰退木の更新、樹勢改善のための管理等を行います。

5 計画のポイント3 歴史あるサクラの品種等を継承する(サクラ品種管理計画)

新宿御苑のサクラは、明治39年の改修以降、全国から多くの品種が集められ、その後も多種多様なサクラが植栽され、100年を超える歴史の中で、様々な品種といわれのあるサクラの木々が受け継がれてきています。

しかし、多くの品種で老木化が進み、御苑における貴重な品種の継承、後継樹の育成が必要となっており、現存するサクラについて、導入の経緯やいわれ、品種としての希少性などについて整理し、後継樹の育成と植栽計画などの品種の保存・継承のための管理計画の作成が必要となっています。



大正時代に作成された桜調書(図譜)



希少性の高い品種 ヒマラヤヒザクラ

【計画の概要】

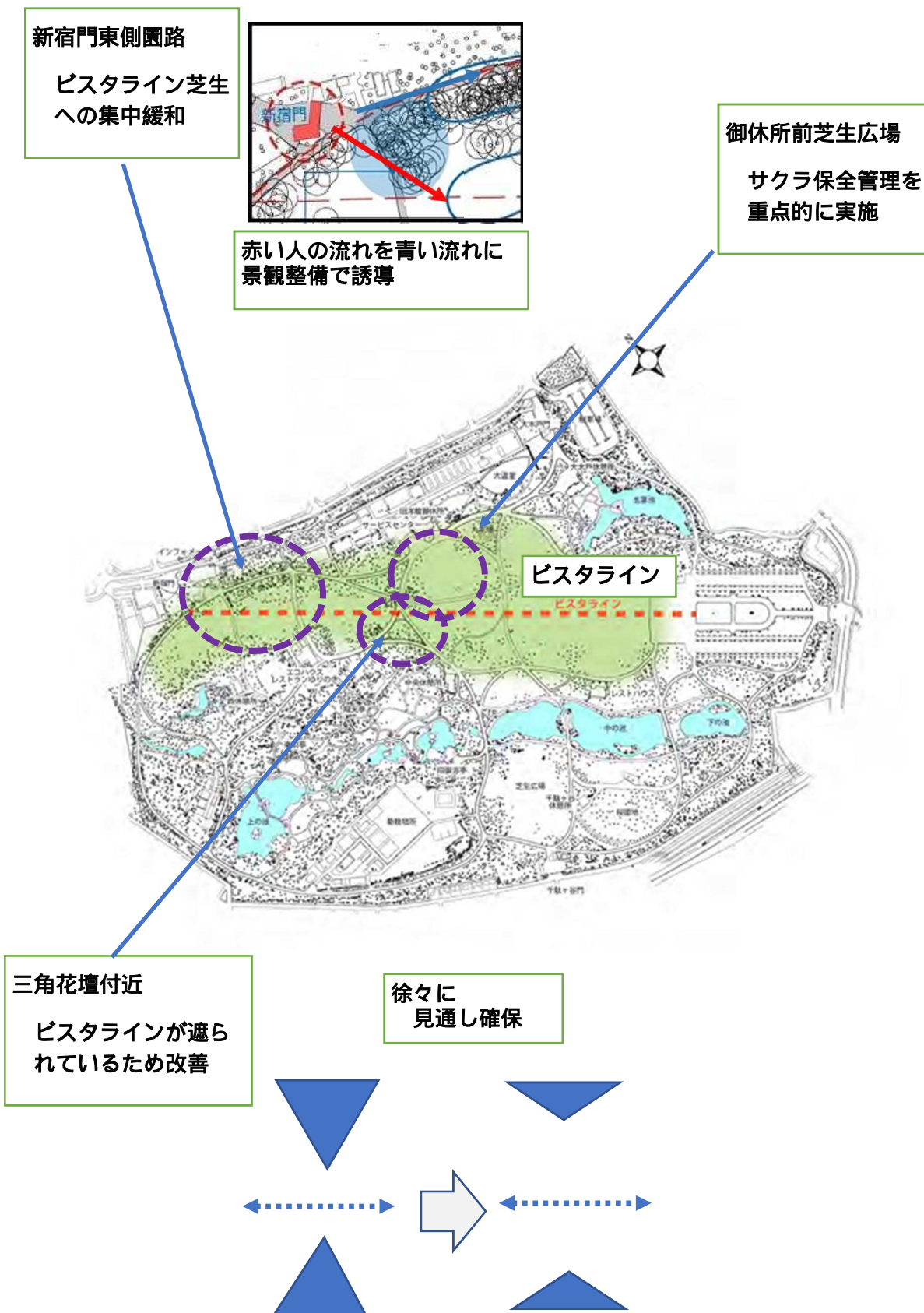
- ・「新宿御苑にとっての価値」を評価する項目を、歴史性、由来・いわれ、希少性、人気などの観点から設定し、現存するサクラを対象として、各項目に該当する品種・個体を分類しました。
- ・この評価にもとづき、ヒマラヤヒザクラなどの特に貴重な品種は、新宿御苑に現存する樹木から接木苗(つぎきなえ)を育成し受け継いでいくこととし、ソメイヨシノなどのそれ以外の品種は、外部からの導入も含めて後継樹を確保していくこととしました。
- ・個体については、「可能な限り現存するものを保存する個体」と「新宿御苑に現存するものを継承する個体」の2区分としました。
- ・品種の保存にあたっては、日常的な管理、情報収集や苗木・幼木の育成等の各段階に分け、管理者(国、委託事業者)、ボランティア、専門家が連携して取り組んで行く体制を構築することにしました。

「新宿御苑庭園・樹林管理方針等検討会(第1期)委員名簿

氏名	所属
鈴木 誠	東京農業大学地域環境科学部造園学科 教授
小野 良平	立教大学観光学部観光学科 教授
高橋 康夫	一般社団法人 日本庭園協会 会長
和田 博幸	公益財団法人 日本花の会 主幹研究員
宍戸 博	一般財団法人 国民公園協会 新宿御苑支部長

オブザーバーとして、委託管理事業者及びボランティア団体(グリーンアカデミークラブ)が参画

模式・地名図



新宿御苑 庭園・樹林管理計画 第1期計画 概念図

(ピスタラインとサクラの景観・品種の保全管理)

計画の必要性

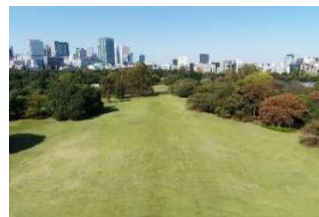
- ・庭園管理において景観の継承を基本としてはいても、具体的な方針が作成されていない。
- ・景観の継承を支えてきた手法・技術が失われつつある。
- ・このような中で、樹木の生長、サクラの衰退等による庭園景観が変質しつつある。
- ・海外観光客の急増など、利用客層の変化や周辺環境の変化などへの対応が必要。



庭園樹林管理計画

管理対象空間や樹木の現状をふまえた具体的な計画

- ・各期、テーマ(課題)ごとにとりまとめた方針の整合を図り、総合的に判断
- ・今回は、第1期として「広大で奥行きある広がり(ピスタライン)とサクラの景観・品種」の継承をテーマ



①ピスタライン景観管理計画

- ・新宿御苑の最大の魅力である広大で奥行きのある広がり「ピスタライン」により形成
- ・ピスタラインは、樹木の生長等により失われるおそれ
- ・ピスタラインを回復するための樹木管理を推進
- ・三角花壇付近等で重点的取組

サクラ保全再生管理計画

- ・メインピスタ周辺のサクラの景観が衰退するおそれ。
- ・個々の樹木を評価し、整姿剪定、更新、樹勢回復等の取組を推進。
- ・御休所前広場付近等を重点的に取組

サクラ品種管理計画

- ・歴史・文化的または植物学的に希少な価値をもったサクラの継承の合理的な方法の確立。
- ・御苑として継承すべき品種等を整理し、継承方法、体制等について計画を作成